

第 41 回土木計画学研究発表会（春大会）：2010. 6. 5～6（名古屋工業大学）

企画セッション討議内容の記録

セッション名：生活交通サービスの計画技術とその実用展開(1)	
日付：6月6日（日）曜日、セッション時間：16:45～18:45	
オーガナイザー名（所属）：喜多秀行（神戸大学大学院）	
討 議 内 容	<p>&lt;セッションの概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本セッションは7件の発表により構成。</li><li>・生活交通サービスの計画に関するモデル化や理論に関する発表が主である。</li><li>・セッション半ば頃から遠方へ帰る出席者の途中退席があり、終了時の出席者数は50名程度でにまで減少した。</li></ul>
	<p>&lt;討議内容&gt;</p> <p>○公共交通需要の発生強度の推計手法を論じた研究について、発生強度が距離減衰するという式の意味やパラメータの値について議論があった。短距離は徒歩、長距離は自動車に依存することなどから公共交通需要の発生強度と距離には明確な関係がないのではないか、またその結果が式に表れているのではないかなどの指摘があった。</p>
	<p>○地域資源を活用した生活交通サービスの提供方法について論じた研究について、地域資源を利用した場合のリスクに関し、計画や運営の中に組織内のモラルハザードという項目を入れればどうかという指摘があった。</p>
	<p>○複数集落間の生活交通サービスの調整をゲーム理論を用いて記述した研究に対し、発表で示された1つの路線上に複数の集落がある場合以外のケースへの展開の可能性について議論された。</p> <p>○三次救急医療施設へのアクセスの地域間格差の評価に関する研究に対し、所要時間計算に高速道路の利用を前提としているかどうかという質問があったほか、鳥取県のように三次救急医療施設の数に限定されている地域で3つの病院へのアクセスについて評価する意義などについて議論があった。</p>